

多発性嚢胞腎について

○多発性嚢胞腎とは

多発性嚢胞腎とは、腎臓に多数の嚢胞（水の入った袋）ができ、年齢とともに大きくなり、やがて正常な腎臓組織を圧迫して、腎不全になる病気です。

この病気は遺伝子します。

○多発性嚢胞腎の治療

2014年に『トルバプタン（商品名：サムスカ錠）』という薬が発売される前は、正常な腎組織をなるべく壊さないようにする、高血圧治療などを中心に行っていました。

サムスカ錠が発売されてから、嚢胞が大きくなるのを抑える治療が可能となりました。

その他、合併症として、脳動脈瘤、心臓弁膜症なども調べて、必要があれば治療を行います。

難病医療費等助成の対象なので、手続きを行ってください。

[東京都福祉保健局→難病医療費助成の支給認定申請手続等](#)

多発性嚢胞腎治療薬サムスカ錠は入院で開始する必要があります。

○サムスカ錠ってどんな薬？

サムスカ錠は腎臓での「バソプレシン」の働きを妨げ、嚢胞が増大する速度を抑える効果のある薬です。

継続して服用することで、腎臓の働きが低下して末期腎不全腎不全（透析）になる時期を延ばすことが期待できます。

なお、バソプレシンには尿量を調節する働きがある為、サムスカ錠を服用すると尿量と尿の回数が増えます。サムスカ錠を服用中は脱水症状を防ぐために十分な水分をとる必要があります。

○入院にあたって

ご入院中には、内服による副作用の程度を確認したり、安全に飲めるように管理、指導をさせていただきます。

多発性嚢胞腎患者さんのサムスカ導入入院について

○入院スケジュール（必要な時は延長します。）

	入院日	入院2日目	入院3日目	退院日
サムスカ錠 内服	無	朝45mg 夕15mg	朝45mg 夕15mg	朝45mg (自宅で内服)夕15mg
各種検査	○		○	
体重測定	入院時・夜	朝	朝	朝

※検査は適宜追加される場合があります。あらかじめご了承ください

○退院後の流れ

入院が終わると、自宅での内服となります。退院時に薬をお渡しします。

可能であれば自宅で体重測定をしてください

2週週間以内に初回外来受診をしていただきます。

その後、月 1 回の頻度で通院し、検査を行います。

サムスカの投薬量は、症状を見ながら、徐々に増量していきます。

退院後、患者様の体調に変化があったり、困ったことがあればいつでも病院にお電話ください。

連絡先：赤羽中央総合病院 内科